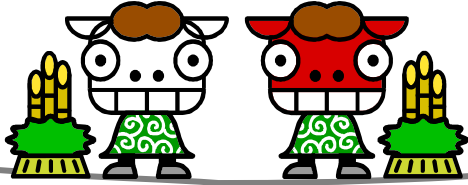


わーかーびいーNews



第 19 号

平成 21 年 1 月

編集：特定非営利活動法人わーかーびいー事務局

住所：札幌市厚別区上野幌 3 条 4 丁目 1 番 12 号

e-mail: info@workerbee.biz

tel.011-893-1199 fax.011-893-5599

URL: http://www.workerbee.biz/



今年もよろしくお祈りします！
 北海道の本格的な冬、皆様いかがお過ごしですか？
 空気も乾燥しているの、火の元には特にご用心を火災が増える季節です。
 もちろん、感染症や風邪にご用心。
 予防接種はすんでいますか？手洗いうがいを習慣に！



知ってる？行動援護！

行動援護と一口に言っても、実際どんなサービスで、移動支援との違いは何？と疑問を持つ方も多いのではないのでしょうか？ここでは、行動援護について整理してみます！

行動援護の対象者

知的障害又は精神障害により行動上著しい困難を有する障害者等であって常時介護を要する者

障害程度区分が区分 3 以上（成人の場合）

障害程度区分の認定調査項目のうち行動関連項目（11 項目）等の合計点数が 8 点以上（障害児にあってはこれに相当する心身の状態）である者』とされています。

行動援護のサービス内容

外出時における不安定な行動や問題行動などを予防・制御することを含む支援です。具体的には、その日の目的地や予定を言葉以外の方法も使って知らせることで安心して外出できるよう支援したり、パニックなどの行動が起こりそうな環境では、事前にそれらを回避するなどの支援を行います。2 年以上の実務経験者または行動援護研修修了者が支援にあたります。

行動援護判定基準と認定項目（認定調査項目：下表）

調査項目等	0 点		1 点	2 点	
	意思表示できる	時々ある	時々、独自の方法	常に独自の方法	意思表示できない
本人独自の表現方法を用いた意思表示	意思表示できる		時々、独自の方法	常に独自の方法	意思表示できない
言葉以外の手段を用いた説明理解	説明を理解できる		時々、言葉以外の方法	常に言葉以外の方法	説明を理解できない
食べられないものを口に入れる	ない	時々ある	ある(週 1 回以上)	毎日	
多動又は行動の停止	ない	稀にある	月に 1 回以上	週に 1 回以上	ほぼ毎日
パニックや不安定な行動	ない	稀にある	月に 1 回以上	週に 1 回以上	ほぼ毎日
自分の体を叩いたり傷つけるなどの行為	ない	稀にある	月に 1 回以上	週に 1 回以上	ほぼ毎日
叩いたり蹴ったり器物を壊したりなどの行為	ない	稀にある	月に 1 回以上	週に 1 回以上	ほぼ毎日
他人に抱きついたり断りもなく物を持ってくる	ない	稀にある	月に 1 回以上	週に 1 回以上	ほぼ毎日
環境の変化により突発的に通常と違う声を出す	ない	稀にある	週に 1 回以上	日に 1 回以上	日に数回
突然走っていなくなるような突発的行動	ない	稀にある	週に 1 回以上	日に 1 回以上	日に数回
過食・反すうなどの食事に関する行動	ない	稀にある	月に 1 回以上	週に 1 回以上	ほぼ毎日
てんかん発作(医師意見書)	年 1 回以上 換算せず		月に 1 回以上	週 1 回以上	

行動援護を使うにあたってのルール...

- ・行動援護は、1 日 1 回のご利用となります。たとえば、『午前中に 1 時間の行動援護をした後、その日の午後 1 時間を空けて 1 時間の行動援護』といったご利用はできません。
- ・行動援護は、原則 1 日 5 時間までとなります。
- ・行動援護は、連続して移動支援との組み合わせができません。たとえば『2 時間のケアを半分ずつ行動援護と移動支援で振り分ける』といった利用の仕方はできません。
- ・居宅介護計画に基づいた利用が原則になりますので、突発的な利用は想定されていません。

今年の 4 月から障害者自立支援法が一部改正され、行動援護の内容も変わりそうです。改正内容が決まりましたら、またお知らせします。

「室蘭らんらん」と「があだばーと」



わーかーびーでは、現在、室蘭で、かいけつ太郎～ケアサービスステーション室蘭分室(通称：室蘭らんらん)として支援を行っています。地域の方々のニーズに合わせて、室蘭の地域に根差した支援を目指しています。

私たちは現在、室蘭で『があだばーと』という障がい者共同住宅での支援を中心とした居宅サービスを行っています。(があだばーとのホームページは、<http://www4.plala.or.jp/gardapart/>)

学校を卒業した障がいのあるお子様の親御さんが集まって、協力し合って共同住宅があだばーとが誕生しました。現在、らんらんの常勤・非常勤のスタッフが介護支援にあたっています。があだばーとでの支援を中心として、外出付き添い、通院介助など、室蘭で生活する障がいのある方々の地域での暮らしのお手伝いをしています。これからもっと多くの方にらんらんの活動を知って頂き、地域に根差した居宅サービスを行ってきたいと思っています。よろしくお祈りします。

らんらんスタッフ一同



こばやし みきこ
小林 美紀子

室蘭の地域支援の土台を担う、らんらんのコーディネーター！

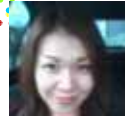
室蘭を拠点に、厚別のケアにもよく応援に来ています。かゆいところに手が届く！らんらん唯一のやさしい男性ヘルパー

さわや あきひこ
澤谷 昭彦



らんらん常勤スタッフ紹介

わたなべ まや
渡邊 麻矢



いつも明るいムードメーカー！
趣味はホラーやサスペンス系のDVD観賞です。

気になる木

今号の冒頭で行動援護についての制度的説明を掲載しましたが、実際にはどんなことを考えながらヘルパーは支援しているのでしょうか。身近な例をご紹介します。

日中一時支援で事業所にやってきたFくん。駅の近くにあるこの事業所での彼の最大の楽しみは、窓から見える列車を眺めることです。列車の音がかすかに聞こえるたびに窓のところに駆け寄り、通り過ぎるまでじっと見続けます。そんなある日、いつものように特急列車が通り過ぎるのを彼と一緒に見ていると、Fくんは不満げに「スーパー北斗、もう一度。」と繰り返し、ついには泣き出してしまいました。時刻表を見るとちょうど『スーパー北斗』が通る時刻で、何も問題はなさそうですが...

私は次のように推測しました。札幌と函館を結ぶ『スーパー北斗』という列車、以前は『281系』というドアの部分が青と緑の列車で運行していました。その頃は帯広や釧路に向かう『スーパーとかち』や『スーパーおおぞら』で使われている『283系』(ドアの部分が青・緑・赤の3色)とは、完全に使い分けされていたので、列車の色で列車名がわかったのです。

ところが最近になって、『スーパー北斗』にも『283系』が使われるようになりました。その結果、『スーパー北斗』が通るはずの時刻に『スーパーとかち』か『スーパーおおぞら』が通っているように見え、Fくんにとっては納得しがたい事態になってしまったのです。(蛇足ですが、現在『スーパーとかち』に、以前は『スーパー宗谷』のみで使われていた『261系』も使われるようになり、さらにややこしいことになっています。)

今回のように理由らしきものが見えたなら、次回にどういう対応をすべきかを考えることができます(JRに車両の運用を元に戻すようお願いするのは現実的ではありませんが、幸いなことにJR北海道のホームページには車両紹介があるので、『283系』の『スーパー北斗』があることを視覚的に示すことができます)。一方で、私たちが理由を見出せないばかりに「かんしゃくを起こした」「機嫌が悪い」などと片付けてしまっていることがないか、と考えてしまいます。お客様が何に着目しているのかを、広い視点で感じる技量が求められるのでしょう。

かいけつ太郎行動援護サービス提供責任者 小室聡司

<編集後記> 無事に2009年の第1号を皆様にお届けできて幸いです。昨年は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い致します。2009年になったとほっとしていたら、やってくるのは『年度末』。今年度も残すところ3か月をきりました。1年はあっという間ですね...。来年度への希望をもって、そろそろ今年度もまとめに入りたいところです。フリーペーパーや色んな広報誌を集めるのが習慣になっています...。今年度のまとめの前に整理からやろうかなあ...(^^)A 高橋未和

<特定非営利活動法人わーかーびー>

障がい福祉サービス事業所 かいけつ太郎～ケアサービスステーション

〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号 TEL011-893-1199 FAX011-893-5599

障がい福祉サービス事業所 とんとん

〒002-0855 札幌市北区屯田5条4丁目1-67東側 TEL011-887-8173 FAX011-887-8174

委託相談支援事業所 ますとびー

〒004-0045 札幌市厚別区厚別中央4条2丁目19番15号 TEL011-299-3856 FAX011-894-3899

千歳市障がい者総合支援センターChip(千歳市委託事業)

石狩圏域障がい者総合相談支援センター夢民(北海道委託事業)